

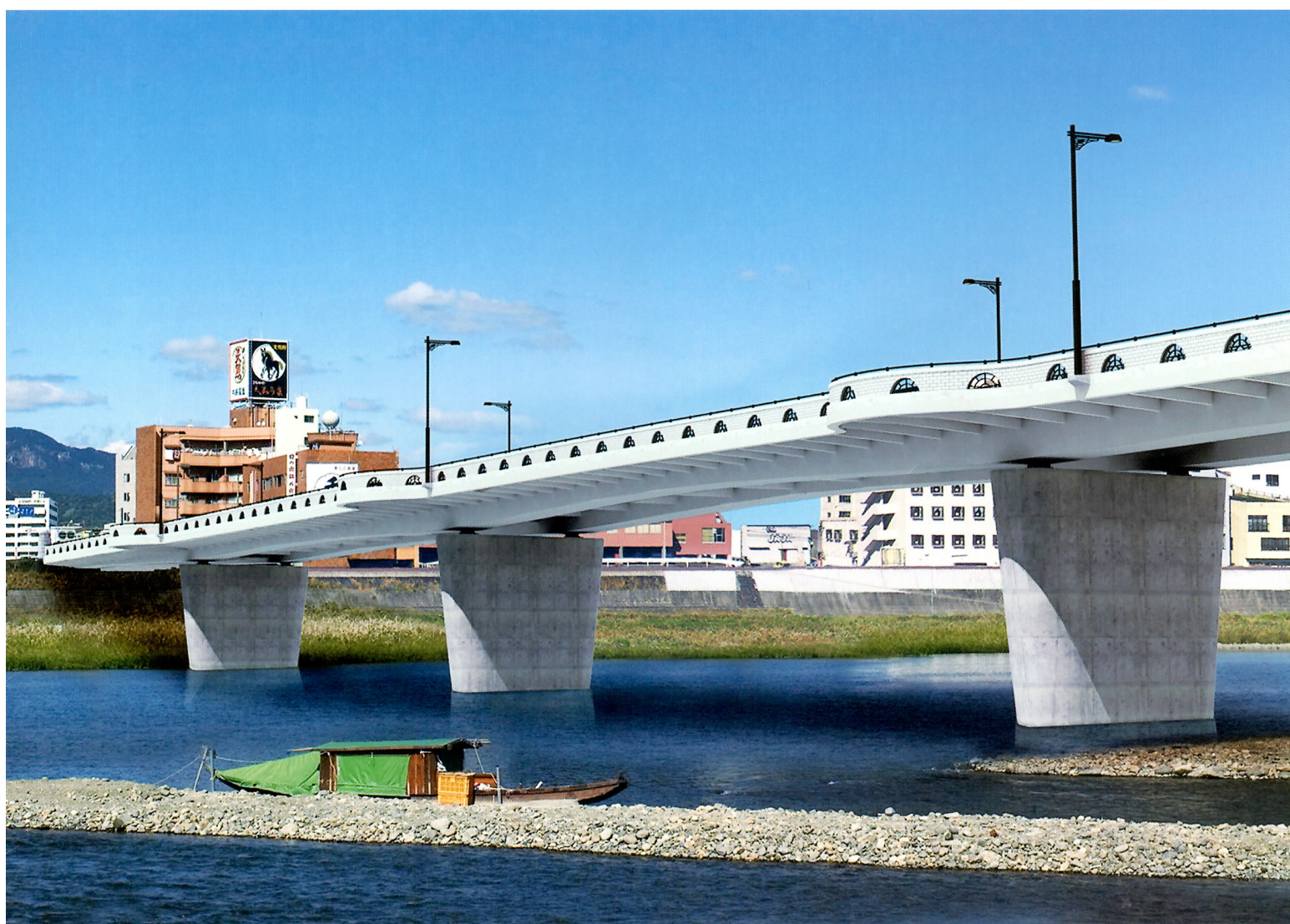
五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業

あ が た ば し か け か

安賀多橋架替え

New
Agata Bridge

風景に融和し、市民に愛され、歴史を受け継ぐ橋に!!



国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
宮崎県 延岡土木事務所

市民にとっての安賀多橋

安賀多橋は、延岡市の中心部を南北に走る県道稲葉崎・平原線の大瀬川に架かる橋で、経済交流の窓口になっている重要な幹線橋です。

架替え前の安賀多橋の様子



市民に愛され、利用されている橋

安賀多橋の架かる「県道稲葉崎・平原線」は、市街地を通る主要道として交通量の多い幹線道路です。歩行者や自転車の通行も国道10号と比べても多く、市民の生活道路として重要な路線となっています。

安賀多橋へと続く中央通は、都市景観形成地区として「シンボルロード」に位置づけられており、歩道の修景・アーケードの設置が整備されています。そのような景観の一部を担う安賀多橋は、「延岡のメインストリートの一翼を担う、延岡を象徴する橋」として、宮崎橋の日実行委員会が選定する「宮崎の橋101選」にも選ばれました。また、市民の活動により、全国で初の「橋の日」イベントが開催された橋でもあります。現在でも、「橋の日」発祥の橋として橋にかかわるイベントが行われるなど、市民に愛され、親しまれている橋です。

橋の架替えの目的

平成17年9月に発生した台風14号では、堤防からの越水や内水により1,700戸以上の家屋浸水が発生するなど水害による大きな爪跡を残しました。このような被害を軽減する為、平成17年11月「五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業」（通称：激特事業）に採択され、河道掘削や築堤、排水ポンプ場の整備など緊急的な河川改修を進めています。

安賀多橋においても、桁下が著しく低いことや、橋脚が9本と多いことで増水時に水の流れを妨げるなどの問題があることから、激特事業により架替えを行うことになりました。



平成17年の台風14号で出水したときの様子

安賀多橋の変遷

昭和12年に建設された当時から、中心市街地への玄関口として利用されてきました。

安賀多橋の歴史



大瀬川に架かる

昭和15年(1940年)頃の安賀多橋が写った絵ハガキ

安賀多橋は、昭和12年(1937年)に長さ251mの橋として建設されました。その後、昭和32年(1957年)に河川堤防の引堤により安賀多町側の17.6mの縦足工事に着工し、昭和36年(1961年)に完成しました。

その後、国道10号延岡バイパスの開通により、稲葉崎町から平原町までの区間が宮崎県管理の県道へ移管され、現在の県道橋となりました。

また安賀多橋は、昭和61年(1986年)8月4日に全国に先駆けて「橋の日」を制定し、「市民の生活、文化に密接なかわりを持つ川や橋に感謝し、愛郷心の高揚と河川への愛護・浄化への関心を育み、橋の日を通して人々との心の架橋をつくる」ことを目的として、様々なイベントが行われるようになり、「橋の日」発祥の橋として全国的に知られるようになりました。

安賀多橋の景観

安賀多橋周辺は、春や夏になると青い空や遠くの山、河川敷の緑などが橋の色と調和し、秋や冬には背景の山の稜線と橋の雄大さが調和し、美しい風景を創り出します。また、安賀多橋の中央通側にはビルの後ろに城山が控え、川の中には安賀多の瀬による川の微妙な変化があり、橋脚の連続的なアーチと相まって、橋全体にリズム感のある印象的な風景を形成しています。

架替え前の安賀多橋



New
Agata
Bridge

風景に融和し、市民に愛され、歴史を受け継ぐ橋に!!

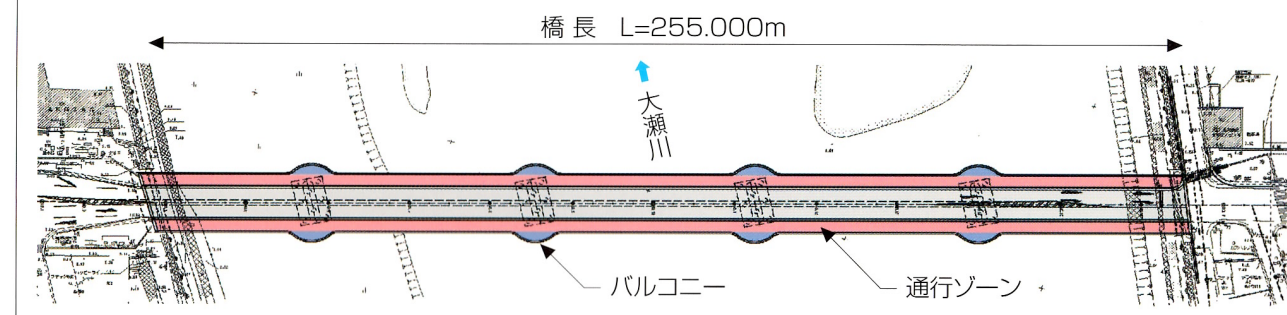
安賀多橋は、昭和12年から約70年もの歴史を経て延岡の風景の一部になっており、多くの市民の心に刻まれ、愛され続けている延岡市を代表する橋です。新たに架替えを行うにあたり、その長い歴史を受け継ぎ、川・山・都市が融合、調和する場所にふさわしく、より市民に愛され利用されるように「安賀多橋の景観を考える会」を設立し、地域の方々の声を取り入れた具体的な検討を進めました。

新安賀多橋は、「風景に融和し、市民に愛され、歴史を受け継ぐ橋」をデザインコンセプトとして ①自然との調和 ②都市への適合 ③コミュニティ ④歴史の継承 の4つの柱を基に、橋長255メートル、橋幅16メートルの「鋼五径間連続鋼床版箱桁橋」による整備を進め、現在の景観や歴史を損なわないよう配慮した橋として生まれ変わります。

架替え後の新安賀多橋のイメージ



新安賀多橋の計画平面図



「安賀多橋の景観を考える会」

安賀多橋の架替えを行うにあたり、地域の声を反映するべく「安賀多橋の景観を考える会」を設立し、学識経験者、地域住民、宮崎県、延岡市の方々に参加していただき、計3回にわたって議論を行い、その中で様々な意見をうかがい、橋面のデザイン・色彩等を決定しました。



現地を視察する「安賀多橋の景観を考える会」のメンバー



3回の会議を経て、デザイン及びカラーを決定しました

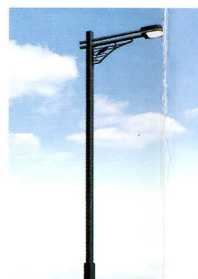
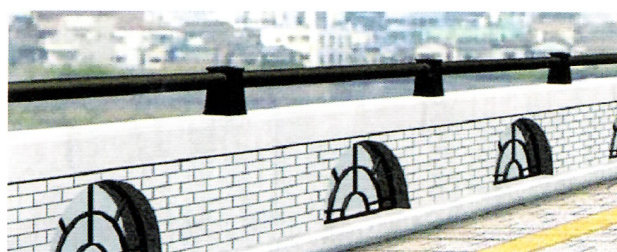
①自然との調和

宮崎県特有の強い太陽光に配慮した色彩と現在の色彩を考慮し、グレー系の色を採用し、川・山・空の雄大な景観に対して融和できるデザインを心がけています。



②都市への適合

現在の安賀多橋高欄の壁にある半円形の窓を受け継ぎ、欄干から川を眺めることができるよう天端にレールを付けたトップレール式を用いました。また照明を9ヶ所設置し、水郷延岡の象徴であるアユを装飾した「ダブルアーム式」を採用することで、「シンボルロード」との調和をはかり、都会的な風景を作ります。



③コミュニティ

歩道部において、歩行者と自転車の利用を配慮し、それぞれ通行ゾーンを色分けします。また半円形のバルコニーを8ヶ所設置し、その場所にベンチを設置し、憩いの空間を創出します。



わかりやすく色分けされた通行区分ゾーン

④歴史の継承

現在設置されているスタンドグラスが入った親柱4基を再利用します。また高欄の壁も現在の橋と同様のコンクリート製とし、現在のデザインを損なわないだけでなく、重厚感も継承します。



安賀多橋は「橋の日」発祥の橋

「橋の日」発祥の橋として、安賀多橋をはじめ全国でイベントが行われるようになりました。また、宮崎橋の日実行委員会が選定する「宮崎の橋101選」にも選ばれています。

橋の日(8月4日)

生活と文化に密接な関わりを持つ川や橋に感謝し、橋や河川との触れ合いを通して故郷を見つめ直す日として、「橋の日実行委員会」が昭和61年(1986年)に制定。



橋の日に行われるイベントの様子

宮崎の橋101選

宮崎県内にある各地の橋について、機能性や美観・構造・歴史的な視点により「101」の橋を選定しており、「安賀多橋」も選定されています。

延岡河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

宮崎県の雨量・河川水位観測情報

<http://kasen.pref.miyazaki.jp>

宮崎県防災・防犯情報メールサービス(携帯)登録先

<https://www.fastalarm.jp/miyazaki>

延岡市災害情報メールサービス(携帯)登録先

b@nobeoka.yobidashi.com

上記メールアドレスに空メールを送信して下さい。折り返し登録フォームが送られてきます。

国土交通省 川の防災情報(携帯)
<http://i.river.go.jp>

宮崎県の雨量・河川水位観測情報(携帯)
<http://kasen.pref.miyazaki.jp/mobile>

メールサービスとは
災害時に状況を
メール配信する
システムです

ご意見、お問い合わせは

延岡河川国道事務所
調査第一課

☎0982-31-1191

延岡土木事務所
河川砂防課

☎0982-21-6143

国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所

〒882-0803 延岡市大貫町1丁目2889

■HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

■メールアドレス nobeoka@qsr.mlit.go.jp

宮崎県延岡土木事務所

〒882-0872 延岡市愛宕町2丁目15

■HPアドレス <http://www.pref.miyazaki.lg.jp>

■メールアドレス kasen@pref.miyazaki.lg.jp

※各ページに掲載の写真及び記事などの無断転載を禁じます。